

## 「音の会とはこべ学級」

音の会 井上文子



篠崎第3小学校、はこべ学級の先生から「児童達が楽しく出来る、お箏体験授業をお願いします。」旨のお話を頂き、軽い気持ちでお受けしました。

素直な児童から「僕はここに居るより、運動場を走っていたい」の言葉を受け「その児童のお箏をかたずけて下さい」と言いました所、

「それは嫌だ」と泣きわめきだし、その後「お箏を弾きますので貸してください」と言いに来るよう、教え諭す先生のお姿に、先生としての在り方を勉強させていただきました。

昨年12月20日全校生徒の前で約30名の児童が、お箏の演奏を行い「第九：歓喜の歌」一部分メロデーを、ギャラリー生徒の方の、口ずさみと共に、全校一体になりました時には、見学に来られた御父兄の方で、喜びの涙された方が居られたほどです。

増えました「茶道教室授業」では今まで、お世話ばかりされていた児童が、校長先生他、「おもてなし」をし、「美味しかったです、ありがとうございます」と言ってもらえた喜びの、多くのお手紙を頂きました。

昨年で7年目、先生の個々に教え諭すお力を頼りに、音の会一同頑張りたいと思っております。

## 江戸川区音楽協議会とは

江戸川区における音楽文化の向上を図るため、各種音楽活動の振興と音楽家及び音楽団体の育成・支援を行うことを目標に1984年に発足しました。

年末を彩る区内最大の音楽イベントである「江戸川区音楽祭」や、前途有望な新人演奏家を広く発掘する「水と緑のまち 江戸川区新進音楽家コンクール」を江戸川区との共催で開催するなど、区民に音楽文化を広める活動を行っています。

### ◆響け！江戸川のハーモニー

#### 「第40回江戸川区音楽祭」

2019(令和元)年12月15日(日)

会場：江戸川区総合文化センター大ホール

入場：無料

## 事務局からの連絡

### 会員の皆さまへお願い。

昨年より音楽祭入場料無料化により会員のメリットであります「音楽祭無料」がなくなってしまうりましたが、江戸川区音楽振興のため趣旨ご理解のうえ会員勧誘をお願い申し上げます。

所属団体のお友達に入会していただき協議会さらには江戸川区の音楽発展のためご助力をお願い申し上げます。

個人会員 1,500円

賛助 10,000円も承っております。

### ◆江戸川区音楽協議会定例総会

日時：2019(令和元)年6月13日(木)午後7時

場所：グリーンパレス 2階 千歳・芙蓉の間

- 団体活動、コンサートのお知らせなどの情報を皆さまにお届していきます。ご意見やご要望がありましたら広報にお寄せください。

編集後記

《編集》高橋・吉野 《発行》江戸川区音楽協議会

江戸川区音楽協議会

# 江音協だより

第38号

2019年6月号

## 「心を震わせた音楽聖地」

江戸川区少年少女合唱団総務代表 用松 彌生



アヴィラ聖テレサ教会にて

合唱団ではこれまでの実績が評価され「花とライオン児童合唱音楽賞」を全国の中から選抜され受賞しました。

そのころから海外演奏の機運が高まり30周年記念でハンガリー・オーストリア(2011年3月11日福島震災復興を願って希望の響きを届ける)に実現することができました。その一部を紹介します。

アヴィラの聖テレサ教会(ハンガリー)はゴシック建築で豪華な



ウィーン市立公園 ヨハンシュトラウス像前

人生一番の緊張の本番でしたが団員の思いの詰まったステージに、観客席から「ブラボー」という声が沸き拍手を頂きました。国境を越えて理解し合えた爽快感は今までに感じたことはありませんでしたと述べていました。この機会に恵まれた同行者として諸国の異文化を体験が出来た団員の充実した顔を今も忘れることが出来ません。支えて下さった皆様ありがとうございました。



シュテファン寺院前

## 「伝統文化を後世に～小学生の三味線教室」

常盤津清若太夫

南篠崎小学校で、三味線の稽古をする事になったきっかけは「平成八年」。近くの中学校に長い間眠っていた、今では珍しくなってしまった楽器「三味線」を使って「伝統文化の講習会を」との依頼でした。

年間十数回の練習ながら軌道に乗った三年後の事、突然三味線の返却を求められました。折角子供たちが喜び、楽しみにしているクラブを無くす訳には行かないと、当時の校長先生・教頭先生が先頭に立ち、地域の方々の力添えで、十丁の三味線を集めて下さいました。その後、活動の様子が各新聞に掲載され、読者の方から、また私の弟子等から楽器の寄付を受け、今では三十八丁の三味線を保有。是は公立小・中学校では全国一の所有と思います。

受講生は他のクラブ活動や塾、習い事等で数少ない練習日ですが、四年生～六年生(当初は六年生のみ)の有志が、毎年二、三十人が

稽古に励んでいます。

三味線は非常にデリケートな楽器なので、湿気の為、毎年数丁の皮が破れたり、多くの楽器が古いものの為、又ぶつけたり落としたり、壊れる事も有りました。そこで、伝統芸能には大切な正座や簡単な所作、正しい挨拶などを取り入れ、礼儀作法の稽古も並行して教えています。

発表の場は音楽祭の外、養老院の慰問、タワーホール船堀、江戸東京博物館、学内では音楽朝会での演奏。養老院では感極まって涙を流す人も多勢います。又、多くの協力者や応援者が居て下さり、特注品の干支手拭いやご褒美のお菓子や飲物等頂きます。演奏が終わった時は、達成感でホッとした様な得意気な『ドヤ顔』がとても可愛い子供達です。

今年も後継者の若羽太夫を助手に、新しい顔ぶれとの出会いが楽しみです。



## 第39回「江戸川区音楽祭」ギャラリー



ロビーコンサート



音楽祭フィナーレ

## 「一本の電話から始まった」

副会長 實方 健

「手伝ってほしいことがあるんですが」細木前事務局長のこの電話から、私と音楽協議会の関わりが始まりました。待合せ場所に行くと、故似鳥会長、根本現会長、細木事務局長から音楽協議会役員の話でした。音楽ましてやクラシックと言え、義務教育の授業くらいで全くの門外漢でしたから、お断りするつもりだったのですが、協議会の組織や運営なら何がしかお役に立てるかも知れないと、アドバイザーという立場を条件に引き受けることになりました。

当時、似鳥会長は、愛好家グループと音楽家グループの2つの柱に支えられた協議会の目指すべき方向を色々お考えの様でした。これは、今も協議会の最大のテーマだと思います。勿論、様々な考え方はありますが、大事なものは江戸川区に相応しい音楽風土をどう築くかでしょう。それが何かは、大きな視点に立って

皆で知恵を絞らなければなりません。

気付いたら、いつの間にか副会長の立場を頂いていました。こんな筈ではなかったと思いつつ、多くの素晴らしい方々と知り合えたことに感謝です。

これからも皆様とともに、「誰もが身近で気軽に音楽を楽しめるまち」を目指して頑張りたいと思っています。皆様の益々のご活躍を願って止みません。



江戸川区少年少女オーケストラ



エーデルワイスの会



コール・フロインデ



スリッパジョーンズ



ムジカ・サンタンジェロ



羽衣会



鈴木美良乃さん



渡邊礼華さん



江戸川区PTAコーラス